

患者さんへ 当院で実施する研究に対するご協力をお願い  
「当院における胆嚢炎手術の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年1月より2023年3月までに和泉市立総合医療センター外科で胆嚢摘出術を受けた胆嚢炎の患者さんを対象といたします。
2 研究目的・方法	胆嚢炎は胆石の嵌頓などにより胆嚢に感染をきたした状態であり、根治のためには手術が第一選択となり、腹腔鏡下胆嚢摘出術が推奨されています。これまでは重症度によっては保存的加療後の待機手術が行われていましたが、発症から時間が経過すると手術難度が上がり、手術時間の延長や出血量増加、腹腔鏡手術からの開腹移行もしばしばみられていました。近年は早期手術が推奨されるようになり、また亜全摘という回避手術も提言されるようになったことで、それらを減少させることが期待されています。 当院でも近年緊急手術や亜全摘を行う症例が増えており、その解析が必要であると考え、待機群と緊急手術群・亜全摘群と全摘群に分けて周術期因子などを評価し、緊急手術や亜全摘の是非について評価することを、この研究の目的としています。 研究の期間:施設院長許可後～2024年6月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	患者背景(年齢、性別、体重など)、病歴情報(原疾患、合併症、発症までの日数など)、回避手術または胆嚢亜全摘の有無、手術前の検査値(WBC、CRP)、周術期所見(手術時間、出血量、手術方法、合併症の有無)
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 和泉市立総合医療センター 消化器外科 医長 森 拓哉(研究責任者) 所在地:大阪府和泉市和気町 4-5-1 電話:0725-41-1331

2023年6月20日作成(第1.0版)